

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	生涯学習推進事業			事業番号	11-101
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	教育部	谷亀 博久	社会教育課	山内 温子	

計 画 (Plan)

総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち	
		基本政策	3	人がつながり未来を拓く学び合うまちづくり	
		施策展開の方向	6	いつまでも学び生きがいがあるまちをつくる	
		施策	11	学習成果を生かせる生涯学習の推進	
予算事業名	文化振興事業費/生涯学習推進事業費 公民館活動事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→		法令上の位置づけ	義務づけ規定がある	
事業開始年度	開始年度	平成25年度	～	終了年度	
関連法令等	教育基本法第3条、社会教育法第3条第3項				
国・県の計画等			計画期間		
関連個別計画	伊勢原市第2期教育振興基本計画、伊勢原市生涯学習推進指針		計画期間	平成30年度～令和4年度	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	市民の生涯学習活動に対する意識は高まり、公民館講座やサークル活動等を通して、その輪が広がっています。地域と連携して生涯学習環境の充実を図り、そこでの学びを地域へ還元できる仕組みを作ることで、生涯学習活動の更なる推進をめざしています。				
目的 (何をどうしたいのか)	幼児から高齢者までの幅広い年代の市民に、生涯学習活動の機会を提供することで自発的な活動を促すとともに、生涯学習推進リーダーの養成を推進し、学習成果を生かせる仕組みづくりに取り組みます。				
主な対象 (誰・何を対象に)	学習の機会を求める市民、家庭教育支援を必要とする親など				
事業内容 (手段、手法など)	行政内の各部局、大学、企業や市民団体等との連携を図り、生涯学習活動の啓発と推進リーダーの養成、文化芸術活動に関わる後進の育成を進めます。				
事業行程	項目	年度			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	いせはら市民大学講座	講座開催 リーダー養成	講座開催 リーダー養成	講座開催 リーダー養成	
	市民活動団体や地域団体との連携	事業の立案・実施	事業の立案・実施	事業の立案・実施	
目 標	【指標名】	年度			
	【現状値】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	公民館利用者数	254,189人 (平成28年度)	255,000人	256,000人	257,000人



事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	市民ニーズにあった、タイムリーで魅力的な事業展開を心がけます。また、観光振興や健康づくりといった市の施策と関連した事業を活用することで、違う切り口から新たな生涯学習活動を進めていきたいと思ひます。				
実施方法 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> すべて直接実施		<input checked="" type="radio"/> 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者		
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先		
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容		
実施結果	項目	年度			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	いせはら市民大学講座	講座開催 リーダー養成	講座開催 リーダー養成		
	市民活動団体や地域団体との連携	事業の立案・実施	事業の立案・実施		
実施した取組の内容	<input type="checkbox"/> 「第15期いせはら市民大学・楽しい講座」 <input type="checkbox"/> 「令和元年度 大学開放講座」 <input type="checkbox"/> 各公民館で各種学級や講座等				
目標の達成状況	【指標名】	【現状値】	年度		
			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	公民館利用者数	254,189人 (平成28年度)	253,904人	245,504人	

コスト	年度	平成30年度 実績				令和元年度 実績				令和2年度 実績				
	事業費合計 (a)		1,260		千円	1,071		千円	0		千円	0		千円
	内訳	国県支出金 ①	0		千円	0		千円	0		千円	0		千円
		地方債 ②	0		千円	0		千円	0		千円	0		千円
		その他特財 ③	0		千円	0		千円	0		千円	0		千円
		一般財源 (a)-①-②-③	1,260		千円	1,071		千円	0		千円	0		千円
	国県支出金の内容													
	その他特財の内容	受益者負担	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無				前回の改定時期							
		その他												
	人件費	正規職員	0.21	人	1,787	千円	0.19	人	1,653	千円	0	人	0	千円
		その他の職員	3.09	人	7,756	千円	2.78	人	7,367	千円	0	人	0	千円
		人件費合計 (b)	3.3	人	9,543	千円	2.97	人	9,020	千円	0	人	0	千円
	トータルコスト (a)+(b)		10,803		千円	10,091		千円	0		千円	0		千円
	単位当たりコスト	対象数	定義	公民館講座等参加人数		単位	公民館講座等参加人数		単位					
			対象数	29081		人	24,639		人					
総事業費 / 対象数		371		円	410		円							

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	B	左記判断理由	市民協働事業の「第15期いせはら市民大学」はほぼ計画どおり実施できましたが、3月以降の公民館講座等は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施を見送りました。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	B	他都市事業内容等	他の自治体においても、市民との協働で実施する事業や公民館講座等が行われています。3月以降の公民館講座等の中止については、近隣の市町村でも同様の措置が取られています。
有効性 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 高い (A) <input checked="" type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	B	左記判断理由	市民活動団体や地域団体と一緒に事業を実施することは、市民の目線で企画・運営ができるので、市民ニーズを反映しやすくなります。
効率性 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input checked="" type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	B	左記判断理由	協働事業の実施にあたっては、団体と行政との役割分担をしっかり決め、効率よく実施することが大切です。



取組の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	毎年一定の参加者はいるものの、高齢化や固定化が目立ってきているため、若者やこれまで参加したことのない人が参加したくなるような企画が必要です。
令和2年度の取組方針		参加者とともに運営側も体調管理に気を付けながら、市民ニーズにあった魅力的な事業を企画していきます。また、観光振興や健康づくりといった市の施策と関連した事業を活用することで、社会の要請等を踏まえた生涯学習活動の支援を進めていきたいと思ひます。		
所管部長による総評		市民活動団体や地域団体と協力して生涯学習活動を推進することは、地域の活性化にも繋がります。関係する他部署とも連携を図りながら、市民ニーズに沿った取組を進めてください。		